

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	自治区長事務				事業通番	4682	
					開始年度	平成17年度	
総合計画体系	政策	6	政策名	魅力と個性のある地域づくり	終了年度	--	
	施策	6-1	施策名	地域活動の推進	担当課名	総務課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	総務係
	項	総務管理費		目	自治振興費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町自治区長設置要綱 会津美里町自治区長連絡協議会補助金交付要綱	
事務事業の概要	行政事務と町民との間の連絡を円滑にし町政の進展を図るため、本町の地区に自治区を設け自治区長に委嘱する。また、自治区長連絡協議会に補助金を交付する。	
対象（誰、何を）	①自治区長 ②自治区長連絡協議会	
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	自治区及び自治区長連絡協議会の活動が促進され、町政の進展に寄与する。	
成果の考え方	自治区長春季総会・秋季自治区長会議・自治区長連絡協議会主催研修会において、多くの自治区長に町政に対する理解を深めてもらい、地域活性化の促進を図る。	
【成果指標】		
A	自治区長春季総会・秋季自治区長会議・自治区長連絡協議会主催研修会の参加人数	単位 人
B	自治区長連絡協議会役員会参加人数	人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	22,823	22,724	22,497	22,447	22,202
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	22,823	22,724	22,497	22,447	22,202

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	310	315	320	325
	406	268	263	251	24
B	-	65	65	65	52
	52	57	51	43	46

(3) 活動実績及び成果

活動実績	秋季自治区長会議を開催した。 なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、秋季自治区長会議は規模縮小、自治区長春季総会及び自治区長連絡協議会主催研修会は中止した。
成果	秋季自治区長会議の規模縮小、自治区長春季総会の中止に伴い、全区長に対し関連資料を送付することで、町への要望事項に関すること、また各課からの連絡事項について、情報共有を図ることができた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
新型コロナウイルス感染症拡大防止を講じ、各種会議及び研修会を開催し、地域の自主性及び活性化を図る。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 会議及び研修会等を継続的に実施し、地域活動を維持する。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	集落支援・町民活動支援事業				事業通番	4923	
					開始年度	平成28年度	
総合計画体系	政策	6	政策名	魅力と個性のある地域づくり	終了年度	--	
	施策	6-1	施策名	地域活動の推進	担当課名	政策財政課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	政策企画係
	項	総務管理費		目	企画費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町集落支援員設置要綱、会津美里町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例 会津美里町会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する規則					
事務事業の概要	集落支援員を設置し、地域活動や暮らしを支える仕組みづくりなど、自立して課題を解決できる地区の体制づくりやまちづくり団体等の活動を支援し、集落機能の維持や課題の解決を図る。					
対象（誰、何を）	①地区（集落、自治区等） ②まちづくり団体（NPO、ボランティア団体等）					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①課題解決に向けた意識が醸成され、住民同士の連帯・協力関係が向上し、地域活動が活性化する。 ②活動が活性化し、まちづくりや地域課題の解決に寄与する。					
成果の考え方	①の対象・意図に対しては、町と地域住民が地域の問題意識と将来展望を共有し、解決のための話し合いの機会を設けるなどの、具体的な活動につながることを成果として捉えAの指標を設定する。②の対象・意図に対しては、組織の量的拡大・質的向上に向けた人材の育成・確保、資金の確保、事業実施のノウハウの取得等を支援することにより、持続的な組織運営や新たな活動への展開などの活性化が図られることを成果として捉えBの指標を設定する。 平成28年度まで、成果指標A「集落支援活動が課題の解決につながった集落数」 平成28年度まで、成果指標B「町集落支援みさとねっと利用者数」					
【成果指標】						単位
A 支援を行った地域コミュニティ数						件
B 支援を行った団体数						件

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	5,803	6,927	5,975	5,709	1,044
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	5,803	6,927	5,975	5,709	1,044

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
	A	-	2	3	4
	4	2	5	4	7
B	-	40	40	40	40
	747	44	33	37	37

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 集落支援事業として、自主防災機能の組織化、高齢者教室の開設、農業後継者問題等への支援を行った。 中間支援事業として、NPO法人その他地域活動団体への活動支援を行った。 地域団体、町民を対象とした先進地視察研修（会津若松市湊地区）、及びSDGs ワークショップ講座を主催した。 広報紙「もっとみっと」、みさとねっとのHPやSNSにより自主活動及び地域活動団体等の情報発信を行った。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者教室又はつどいの場が5つの地区で開設された。 発起人総会から支援している地域活動団体「新富座と歩む会」が10月に設立された。 みさとねっとFacebookページのいいねが目標の500を超えた。 障がい者就労支援事業所と民間事業所がコラボした商品が開発された。 動画による記録やオンラインweb会議システムを活用した情報共有など新しい試みが生まれた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
自主防災組織の立ち上げ・担い手農家への集積・集いの場づくりの支援を継続するとともに集落の課題や取り組み状況を明確化（カルテ化）し、集落負担を少なくし活動を活性化させる取り組みを検討する。また、各団体間の情報共有支援を行い、地域づくり人材（コーディネーター（マネジメント））や組織が行う事業を円滑に運営するための人材及び積極的に参加する人材（プレイヤー（コミュニケーション））の発掘・育成に取り組む。	
成果の方向性	現状維持 （理由） 集落における活動のサポートを継続して行き、町民活動が活発化し地域活動全体の活性化を図る。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	地区集会施設改修事業補助金				事業通番	5151	
					開始年度	平成17年度	
総合計画体系	政策	6	政策名	魅力と個性のある地域づくり	終了年度	--	
	施策	6-1	施策名	地域活動の推進	担当課名	総務課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	総務係
	項	総務管理費		目	諸費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町集会施設建設事業補助金交付要綱					
事務事業の概要	自治区内の住民連帯感を深め、集会及び研修等の用に供する目的により集会施設建設事業を実施する場合において、自治会に対して補助金を交付する。					
対象（誰、何を）	自治会					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	集会施設の利便性の向上を図る。					
成果の考え方	集会施設建設事業補助金を活用することにより、集会施設の利便性向上及び利用する地区内住民の連帯感を一層深める。					
【成果指標】					単位	
A	補助申請件数					件
B	補助決定件数					件

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	492	2,146	2,270	730	604
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	492	2,146	2,270	730	604

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	10	7	4	4
	4	6	6	3	3
B	-	10	7	4	4
	4	6	6	3	3

(3) 活動実績及び成果

活動実績	地区集会所の修繕等に対し、3件の補助金交付を実施した。
成果	地域活動の拠点施設である地区集会所の修繕等を行い、利便性の向上及び施設の長寿命化が図られた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】		
会議や広報等による事業の周知を行い、地域活動の拠点である地区集会施設の維持を図る。		
成果の方向性	現状維持	(理由) 集会施設の維持及び整備を支援し、地域活動を推進する。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	地域おこし協力隊事業				事業通番	14613		
					開始年度	平成28年度		
総合計画体系	政策	6	政策名	魅力と個性のある地域づくり	終了年度	--		
	施策	6-1	施策名	地域活動の推進	担当課名	政策財政課		
予算科目	会計	一般会計		款	総務費		担当係名	人口減少対策係
	項	総務管理費		目	企画費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	地域おこし協力隊設置要綱、会津美里町非常勤嘱託員の任用等に関する規則、地域おこし協力隊活動費助成事業実施要綱、福島県との協同設置による会津美里町地域おこし協力隊実施要綱、地域おこし協力隊起業支援補助金交付要綱	
事務事業の概要	地域や団体などの課題を解決するに当たり、首都圏等町外からの人材を登用し、住民や団体と共に解決に当たる。また、移住した隊員が定住につながるができるよう町として支援する。	
対象（誰、何を）	地域おこし協力隊員	
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	地域課題解決のための活動に従事しながら地域に定住する。	
成果の考え方	隊員の定着	
【成果指標】		
A 活動している隊員		単位 人
B -		-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	5,389	13,759	19,519	24,029	5,777
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	5,389	13,759	19,519	24,029	5,777

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	4	8	8	6
	2	4	8	8	7
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊の募集を行った。 ・地域おこし協力隊OBの起業支援を行った。 ・地域おこし協力隊の活動支援を行った。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・3名の地域おこし協力隊員を新たに採用した。 ・3名の地域おこし協力隊員が任期満了し、2名が定住した。1名は町外に転出したが、令和3年度に本町で起業を予定している。 ・地域おこし協力隊OB1名が起業支援補助金を活用し、本町での起業（就農）につながった。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
本町における協力隊の定着率は高い。毎年度継続した受け入れを行う環境や組織について検討し、協力隊員のさらなる定住につなげる。	
成果の方向性	拡充 (理由) 毎年度受け入れる環境整備につなげるとともに、協力隊員が期間終了後も定着できる業務環境の構築を進める。